



平成25年11月5日

各 位

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社
代表者名 取締役社長 小林 哲也
(コード番号 9041、東証・名証各1部)
問合せ先 経理部長 泉川 邦充
(TEL. 06-6775-3465)

第2四半期（累計）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表した平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の第2四半期（累計）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	592,000	20,500	16,000	9,500	5.58
今 回 修 正 予 想 (B)	597,000	24,900	21,800	12,900	7.43
増 減 額 (B－A)	5,000	4,400	5,800	3,400	—
増 減 率 (%)	0.8	21.5	36.3	35.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	450,130	22,358	15,853	9,286	5.45

2. 修正の理由

売上高は、運輸業で伊勢志摩地域への旅客輸送が好調に推移し、不動産業でマンション販売が順調に進捗しましたため、流通業で本年6月にタワー館を開業した「あべのハルカス近鉄本店」の売上高が目標に届かなかったほか、ホテル・レジャー業で海外旅行の取扱いが低調でありましたものの、全体では前回予想値を上回る見込みであります。

一方利益面において、営業利益は、運輸業、不動産業での売上高の増により増加し、経常利益は支払利息の減少により増加する見込みで、特別損失で減損損失の発生がありましたが、当期純利益も増加する見込みであります。

なお、通期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に予定しております第2四半期決算発表時にお知らせします。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上